

北海道農業・農村の概要

令和元年(2019年)10月 北海道農政部

1 地位と特徴

- 本道では、全国の約4分の1の耕地面積を活かし、稲作、畑作、酪農などの土地利用型農業を中心とした農業を展開
- 平成29(2017)年の農業産出額は、1兆2,762億円で過去最高を更新し、全国の13.6%を占める
- 平成29年(2017年)の食料自給率は206%となっており、我が国における食料の安定供給に重要な役割を發揮
また、本道の農業・農村は食品加工業や観光業など幅広い産業と結びつき、地域経済の活性化や雇用の確保に大きく貢献
- 1農業経営体当たり経営耕地面積は、都府県の約13倍に当たる28.5ha、販売農家に占める主業農家の割合は71.0%と、大規模で専門的な経営を展開

■ 本道農業の全国シェア

区分	単位	北海道(A)	全国(B)	A/B(%)	年次
耕地面積	千ha	1,145	4,420	25.9	H30
販売農家戸数	千戸	35	1,130	3.1	R1
農家人口	千人	133	4,186	3.2	H30
農業就業人口	千人	88	1,681	5.2	R1
農業産出額	億円	12,762	93,787	13.6	H29
食料自給率	%	206	38(37)	-	H29

資料：農林水産省「耕地面積調査」、「農業構造動態調査」ほか

注 農業産出額の全国の数値は都道府県合計

食料自給率はカロリーベースで、全国の()はH30の数値

■ 本道と都府県の農家の比較

区分	単位	北海道(A)	都府県(B)	A/B(倍)	年次
1農業経営体当たり経営耕地面積	ha	28.5	2.2	13.0	R1
1戸当たり乳用牛飼養頭数	頭	134.2	58.5	2.3	R1
基幹的農業従事者65歳未満割合	%	58.7	28.5	2.1	R1
主業農家数/販売農家数	%	71.0	19.2	3.7	R1
農業依存度	%	94.5	52.8	1.8	H29

資料：農林水産省「農業構造動態調査」、「畜産統計」ほか

注 基幹的農業従事者：農業就業人口のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

主業農家：農業所得が主で、1年間に60日以上農業に従事している65歳未満がいる農家

■ 本道農業の地域別特色

区分	特色
道央	稲作を中心に、野菜、軽種馬、肉用牛などの多様な農業
道南	稲作や施設園芸、畑作、果樹などの集約的な農業
道東(十勝・オホーツク)	大規模で機械化された麦、豆、馬鈴しょなどの畑作や酪農畜産
道東(釧路・根室)、道北	冷涼な気候を活かした、EU諸国に匹敵する大規模な草地型酪農

注 道央(空知、石狩、胆振、日高、上川、留萌)、道南(後志、渡島、檜山)、道北(宗谷)

2 農業・農村の動向

- 耕地面積は近年横ばいで推移しており、平成30年(2018年)は114万5千ha
- 認定農業者など担い手への農地の利用集積は年々進み、平成30年度(2018年度)末の集積率は91.0%
- 経営規模の拡大や営農条件の改善に対応するため、水田でのほ場の大区画化、畑地・草地での起伏修正や排水整備など、生産基盤を整備し、農地の生産機能を向上
- 農家戸数は減少傾向で推移しており、令和元年(2019年)は約3万5千戸。農業就業人口の65歳以上率は4割を超え、高齢化が進行

■ 耕地面積等の推移 (単位：千ha、%)

区分	H12	17	22	28	29	30
耕地面積	1,185	1,169	1,156	1,146	1,145	1,145
田	236	228	225	223	222	222
普通畑	414	412	414	416	416	417
牧草地	534	525	514	505	503	502
担い手への利用集積率	58.6	79.4	87.5	90.2	90.6	91.0

資料：農林水産省「耕地面積調査」、北海道農政部調べ

注 担い手とは認定農業者及び市町村基本構想の水準到達者

■ 水田、畑地・草地の基盤整備状況の推移 (単位：%)

区分	H25	26	27	28	29
水田整備率(1ha以上)	10.6	11.6	12.6	13.6	14.7
畑地・草地排水整備率	61.3	61.5	61.9	62.2	62.4

資料：農林水産省「農業基盤情報基礎調査」による道推計値

■ 農家戸数、農業就業人口等の推移 (単位：戸、人、%)

区分	H12	17	22	29	30	R1
農家戸数	62,611	51,990	44,050	36,300	35,800	35,100
農家人口	261,160	211,929	172,779	136,000	133,000	-
農業就業人口	152,387	131,491	111,324	93,700	89,000	87,900
65歳以上率	31.2	34.1	34.4	38.5	41.2	42.8

資料：農林水産省「世界農林業センサス」、「農業構造動態調査」

注 農家戸数、農家人口、農業就業人口はすべて販売農家

- 平成30年(2018年)の農家子弟を含めた新規就農者の総数は529人と前年より減少
なお、農外からの新規参入者は、近年120人程度で推移

■ 新規就農者数の推移 (単位:人)

区分	H12	17	22	28	29	30
新規学卒就農者	343	331	302	181	193	187
Uターン就農者	192	267	337	268	251	225
新規参入者	64	55	61	117	125	117
計	599	653	700	566	569	529

資料:北海道農政部調べ

- 認定農業者は、平成5年(1993年)の制度創設以降、着実に増加していたが、近年は離農や法人化の進展に伴い減少傾向にあり、平成30年度(2018年度)末で、2万9,741

■ 認定農業者数、農地所有適格法人数の推移 (単位:人・経営体)

区分	H12	22	28	29	30	R1
認定農業者	13,481	32,823	31,056	30,497	30,146	29,741
農地所有適格法人数	1,794	2,642	3,181	3,302	3,472	3,605

資料:北海道農政部調べ

- 農地所有適格法人は、年々増加しており、平成31年(2019年)1月1日現在、3,605経営体

■ 企業等の農業への参入状況の推移 (単位:経営体)

区分	H17	22	27	29	30
企業等が設立・出資した農地所有適格法人	65	119	182	206	211
農地を賃借する一般法人	—	30	72	92	91

資料:北海道農政部調べ

- 企業等の農業への参入は増加傾向にあり、平成30年(2018年)の農地所有適格法人による参入は211経営体、一般法人の農地賃借による参入は91経営体

■ 農業産出額の構成(H29) (単位:億円、%)

区分	北海道	構成比	都道府県合計	構成比	道/合計	順位
農業産出額	12,762	100.0%	93,787	100.0%	13.6%	1
耕種	5,483	43.0%	59,950	63.9%	9.1%	1
米	1,279	10.0%	17,456	18.6%	7.3%	2
雑穀	252	2.0%	438	0.5%	57.5%	1
豆	40	0.3%	97	0.1%	41.2%	1
いも	347	2.7%	708	0.8%	49.0%	1
野菜	747	5.9%	2,195	2.3%	34.0%	1
果実	2,114	16.6%	24,508	26.1%	8.6%	1
花き	61	0.5%	8,450	9.0%	0.7%	35
工芸農作物	134	1.0%	3,438	3.7%	3.9%	8
畜産	467	3.7%	1,930	2.1%	24.2%	1
乳用牛	7,279	57.0%	33,223	35.4%	21.9%	1
肉用牛	4,919	38.5%	9,268	9.9%	53.1%	1
豚	1,002	7.9%	7,228	7.7%	13.9%	2
鶏	459	3.6%	6,575	7.0%	7.0%	4
軽種馬	390	3.1%	9,421	10.0%	4.1%	7
軽種馬	477	3.7%	478	0.5%	99.8%	1

資料:農林水産省「生産農業所得統計」

- 農業産出額は、麦類、雑穀、豆類、いも類、工芸農作物、乳用牛、軽種馬の都道府県合計に占める割合は2割を超え、そのうち、麦類、豆類、乳用牛は約5割を占める
(参考) 生産量全国一位の品目(H29)
小麦、そば、大豆、小豆、馬鈴しょ、てん菜、いんげん、たまねぎ、生乳、牛肉、軽種馬 など
※ 農林水産省「作物統計」、「牛乳乳製品統計」等

- 1経営体当たりの農業所得は、稲作収入や畜産収入等が増加したことにより、平成29年(2017年)は1,119万円と前年より大幅に増加
また、農業所得率についても32.4%と前年より大きく上昇

■ 農業経済の動向(1経営体当たり) (単位:千円、%)

区分	H24	25	26	27	28	29
農業所得	5,934	6,387	6,768	8,507	9,304	11,187
総所得	7,359	7,877	8,122	9,963	10,743	12,510
農業所得率	24.6	25.9	26.0	29.4	30.3	32.4

資料:農林水産省「農業経営統計調査」

- 平成29年(2017年)の経営部門別の農業所得は、水田作、畑作、酪農のいずれも前年より増加
また、農業所得率についても、全部門で前年より上昇

■ 経営部門別の農業所得(所得率) (単位:千円、%)

区分	H27	28	29
水田作	6,009 (36.3)	6,018 (34.6)	7,615 (39.4)
畑作	11,472 (32.7)	9,411 (28.8)	13,639 (36.2)
酪農	16,133 (21.2)	21,699 (26.2)	25,025 (27.7)

資料:農林水産省「農業経営統計調査」

- クリーン農業では、YES!clean登録集団数が減少傾向で、平成30年(2018年)産は263集団。作付面積も前年より減少し17,734ha

■ YES!clean登録集団数等の推移 (単位:集団、ha)

区分	H25	26	27	28	29	30
実集団数	349	337	334	321	276	263
作付面積	16,643	17,027	17,141	17,600	18,390	17,734

資料:北海道クリーン農業推進協議会調べ

- 地域資源を活用し、6次産業化に取り組んでいる農業生産関連事業体数は前年より増加し、平成29年(2017年)で3,470件。販売額も前年より増加し、1,553億円

■ 農業生産関連事業体数及び販売額 (単位:件、億円)

区分	H25	26	27	28	29
事業体数	3,510	3,460	3,440	3,390	3,470
販売額	1,400	1,455	1,506	1,517	1,553

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」